

漢楚賽擬選軍談

壹

曲亭馬琴著
和漢撮合
二編上帙
每篇八局合本
歌川國安繪画

13
3057
2



漢楚賽擬選軍談第二編序

上每篇 下每合 帙二四冊

和漢將相の行状得失相似る往々これあり木曾義仲の楚の項羽に似
 たるもの義仲の勇悍精力項羽に及び忠信器量の項羽に似たるもの
 何と云れ義仲粟津の敗軍の疲勞を奮勇の氣力平被る薄鉄乃鐵
 日屬の似たる重いとりの項羽の垓下の敗軍漢の十將軍成殺摩
 けく入る境に入らぬ如く只その虞氏と相訣る愛惜悲歌の趣の義仲
 京師を退くと死松殿々下の姫と別惜の相似たる是より先義仲の
 北陸七ヶ国を更せんと頼朝の功を忘る既確執及んとすける義仲
 親族と戦ふ志ありとる子清水冠者質とる加旃初諸
 源の起す高倉宮の令上日よれ義仲これをあふとの御子信濃
 宮を主と皇位即ちと欲せし上白皇許の義仲の憤
 恨を遂小不臣の罪をなす又項羽の文々功臣の與む約の誓を劉



邦を蜀漢の藩子就め義帝とて主とる終これを執りたる
 親不由頼朝の義仲の勇悍精力項羽に及びたる項羽の忠信義
 仲の勇悍精力頼朝の武略洪運粗漢高祖に似たるも項羽の仁
 大度頼朝漢高祖及び漢高祖の陳涉が庶をあふ秦を亡したの
 豪矢その功を賞したる頼朝の頼政の子孫の恩敦る頼政の
 是頼朝と同宗なり漢高祖と陳涉の類ありたる頼朝の有る賞
 罰正しむるを知り且漢高祖の劉氏ありたる王とせたる兄の初と
 親族を大國に封じたり頼朝の則然る叔父を滅せしむる
 重く賞鮮し譬彼章魚の足を喰ふ腹を充るを快むる
 錫と其身も亦歎け悲たる議論の如くあれどもあふ漢楚の
 勘定と合はるるを好む義仲永壽堂又この編を録して諸木
 此の聊これの言を叙る虚実の畏を明を介す

文政十二己丑春正月吉日刊行

曲阜馬琴識



擬漢大將軍韓信
源九郎判官
義經



八手
喉
手
櫻
口
口

擬楚人蒯徹
常陸坊海尊



骨
折
甲
斐
秋
志
擬楚大將桓楚
楯六郎親忠
擬楚軍師范增
大夫坊覺明



漢書卷九十二

擬楚項伯
長瀬
判官代
義定



師走の那
庖丁研乃
二人まどく

思出

擬楚項伯
越後中太能景

這段出於
第三編

擬鴻門
會樊噲
武藏坊
辨慶

餘乞ふ
おごあけぬ
とを
御慶うね

雷

水



這段出於
第二編



此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり
 此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり



此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり

此の軍勢は平均して
 二万余騎ありて
 大軍馬は二万余騎ありて
 城を圍むに足るなり









源氏物語一巻の一場面を描いた挿絵。中央には、鎧を着た武士が、敵軍の兵士と激しく戦っている。背景には、他の武士や旗手が活躍している様子が見える。全体的に、戦場の緊張感と武士の勇武さが表現されている。

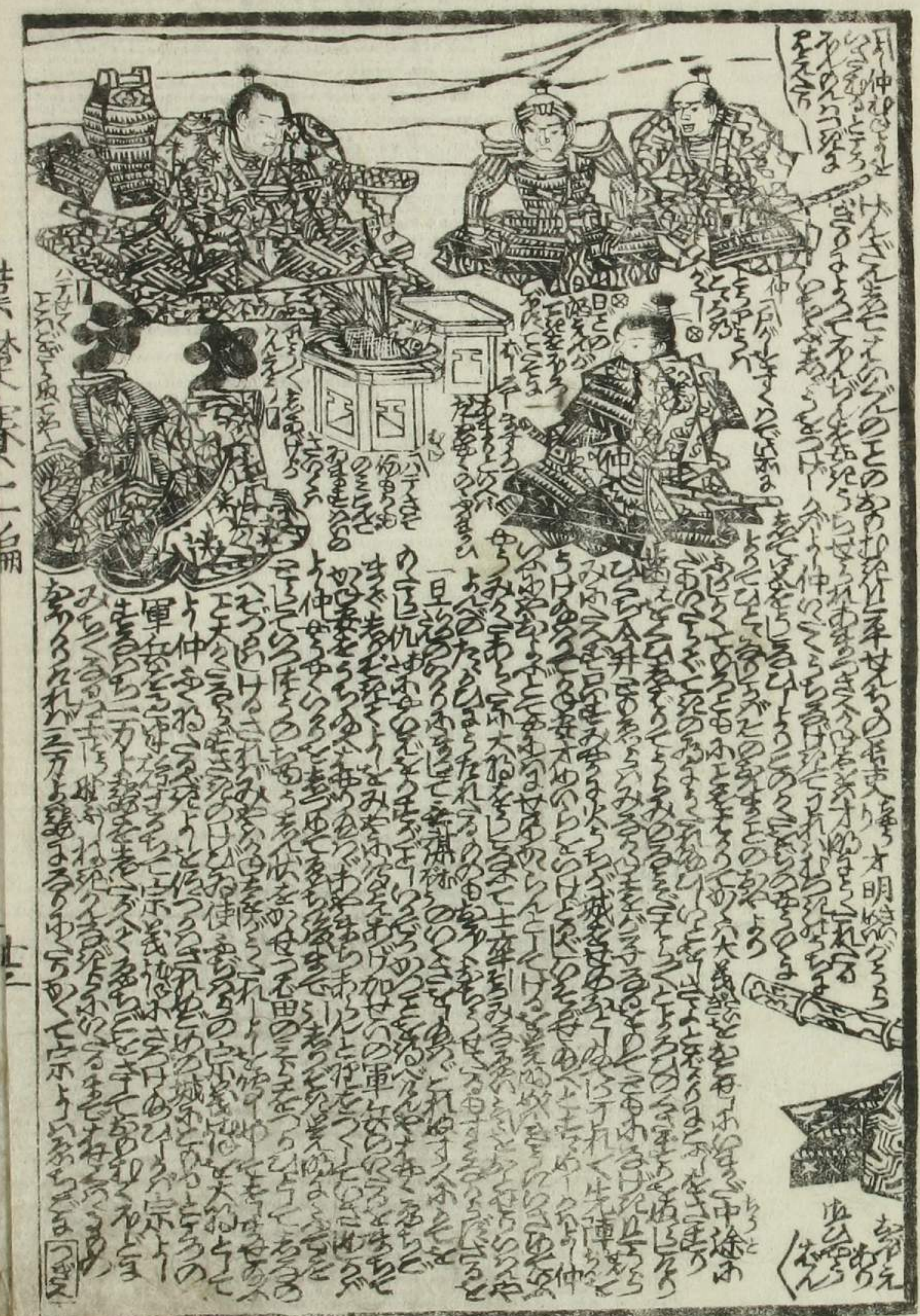


源氏物語一巻の一場面を描いた挿絵。前景には、鎧を着た武士が、敵軍の兵士と激しく戦っている。背景には、他の武士や旗手が活躍している様子が見える。全体的に、戦場の緊張感と武士の勇武さが表現されている。



のちのち...
 仲の...
 仲の...
 仲の...
 仲の...

仲の...
 仲の...
 仲の...
 仲の...



仲の...
 仲の...
 仲の...

仲の...
 仲の...
 仲の...



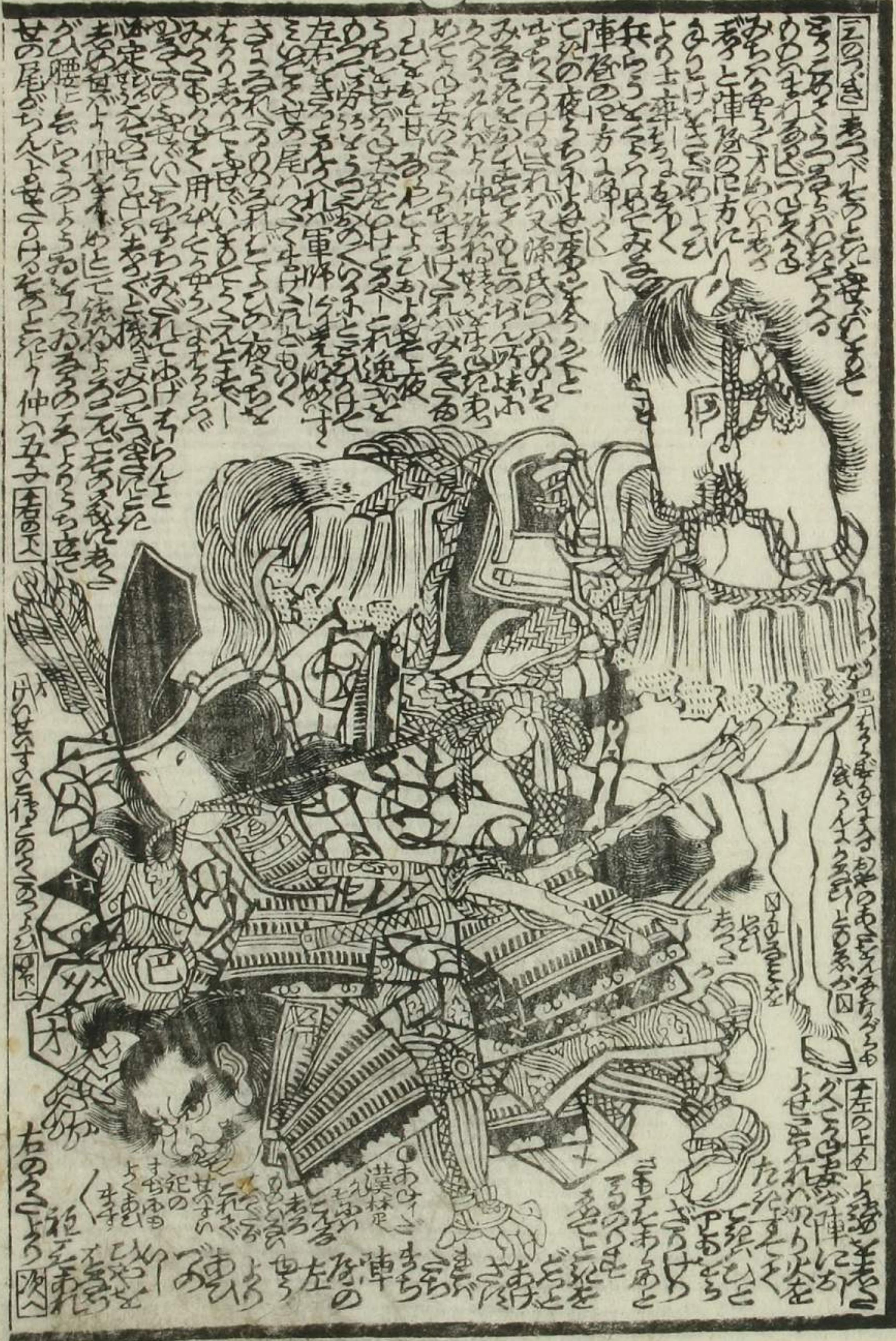
いふて下り仲よめいしめわの... 源平物語 二巻

左の上の宗... 仲よめいしめわの...



どやうつら... 源平物語 二巻

よ仲よめいしめわの... 仲よめいしめわの...



この図は、戦国時代の武士の姿を捉えている。頭には、鳥の羽を飾った兜（かぶと）をかぶり、顔には、目元を飾る面頬（めんほ）をつけている。鎧（よろい）は、肩から腰にかけて、複雑な文様で装飾されている。腰には、太刀（たち）と脇指（わきさし）を差し、右手には、長巻（ながまき）の巻物（まきもの）を握っている。足下には、足袋（たび）と草履（ぞうり）を履いている。背景には、旗（はた）や、他の武士の姿がぼんやりと見える。全体的に、武士の威厳と戦場の緊張感が表現されている。

世に名はるる者も、此の如く、

世に名はるる者も、此の如く、

世に名はるる者も、此の如く、



この図は、室内で数人が集まっている様子を描いている。中央には、大きな机（こ）があり、その上には、巻物（まきもの）や書物（しよぶつ）が置かれている。机の周りに、数人が座（ま）して、何かを話し合っている。背景には、障子（しょうじ）や、掛け軸（かかけ）が見える。全体的に、静かな雰囲気の中で、重要な話し合いが行われている様子が描かれている。

世に名はるる者も、此の如く、

世に名はるる者も、此の如く、

世に名はるる者も、此の如く、









あつちのついでに
あつちのついでに

あつちのついでに
あつちのついでに

あつちのついでに
あつちのついでに

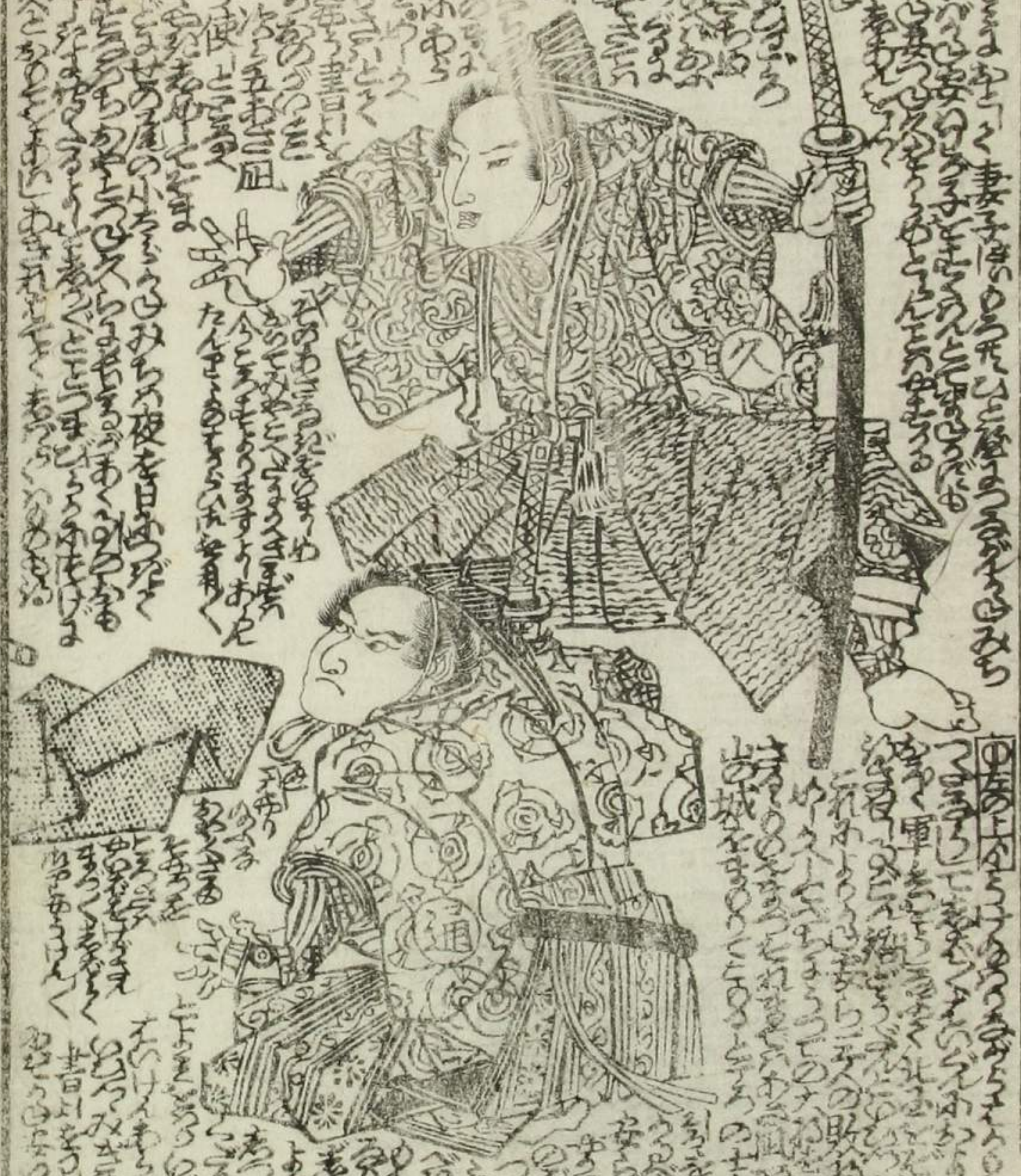


あつちのついでに
あつちのついでに

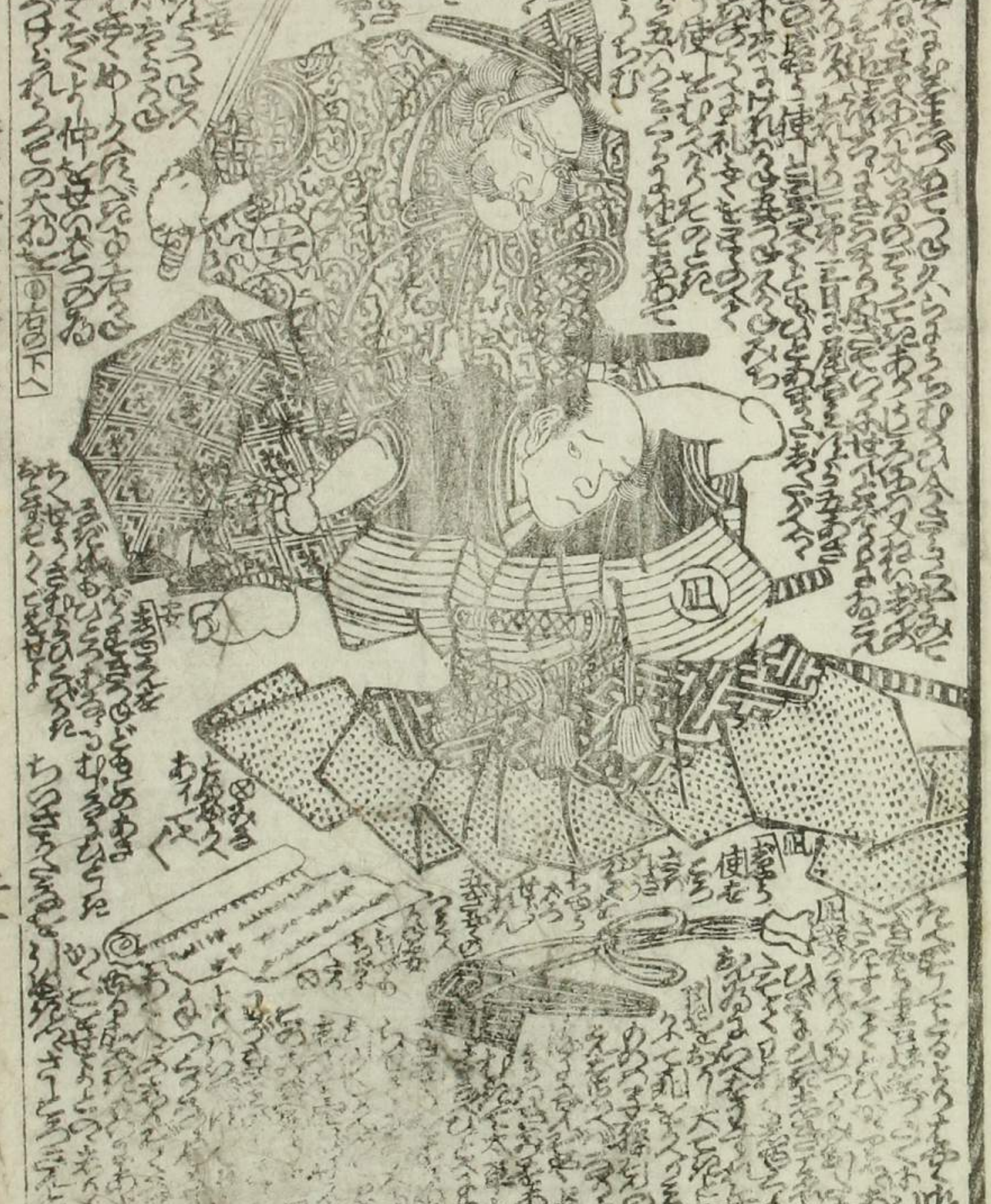
あつちのついでに
あつちのついでに

あつちのついでに
あつちのついでに

源氏物語 卷二 編
(Left column text)
(Right column text)
(Bottom text)



源氏物語 卷二 編
(Left column text)
(Right column text)
(Bottom text)







上仲

ひんち

ねの井

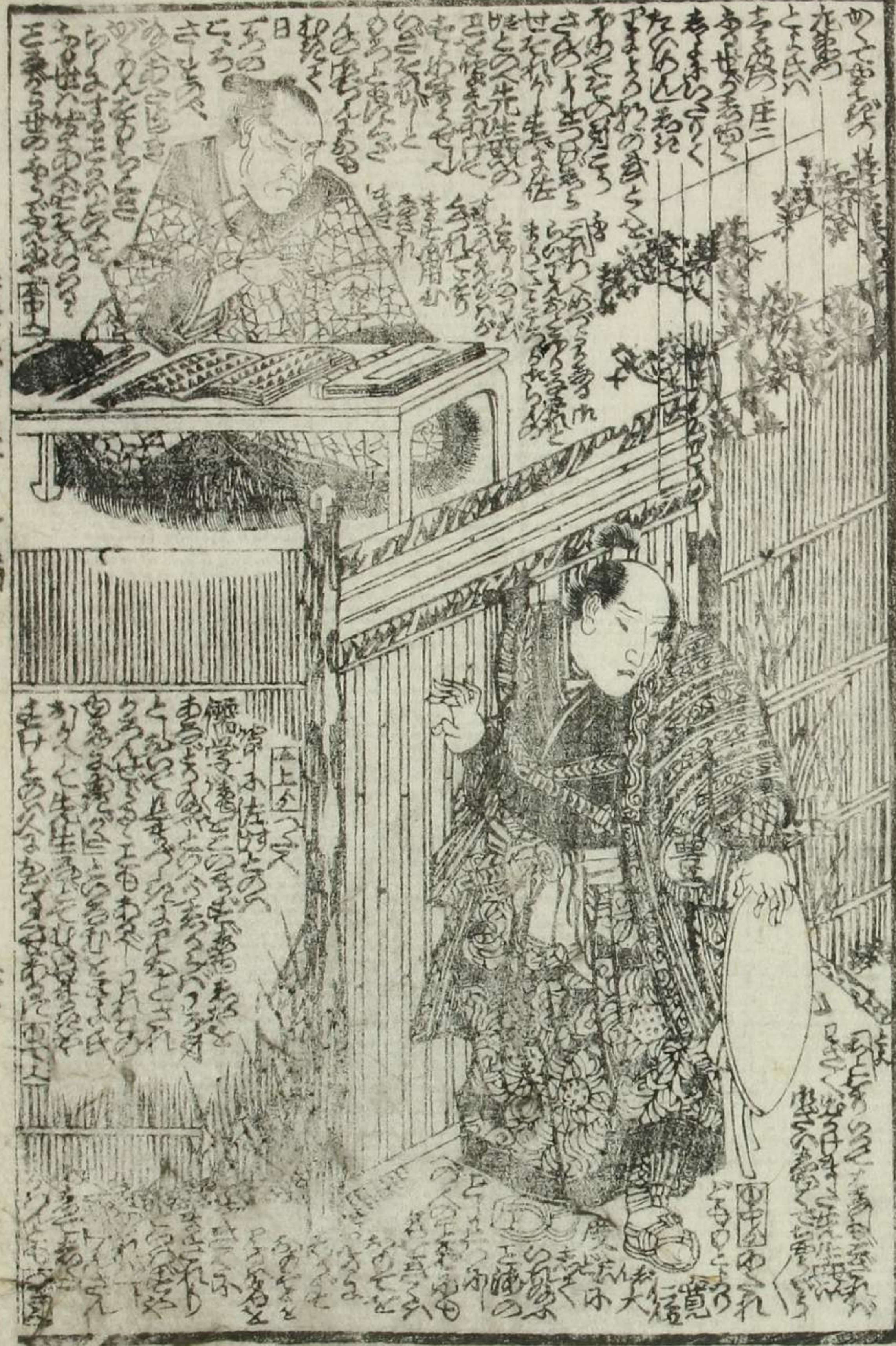
あひの



正

入

り





明君の神



成程

大

此の書は... 清和天皇の御代に... 御書に成りて... 御書に成りて... 御書に成りて...



御書に成りて... 御書に成りて... 御書に成りて... 御書に成りて...



御書に成りて... 御書に成りて... 御書に成りて... 御書に成りて...



お先夫の遺言の雷の如き
 とくくくくくくくくくく
 湯を飲むと
 朝
 軍陣
 廣
 左の上
 大い
 信
 行

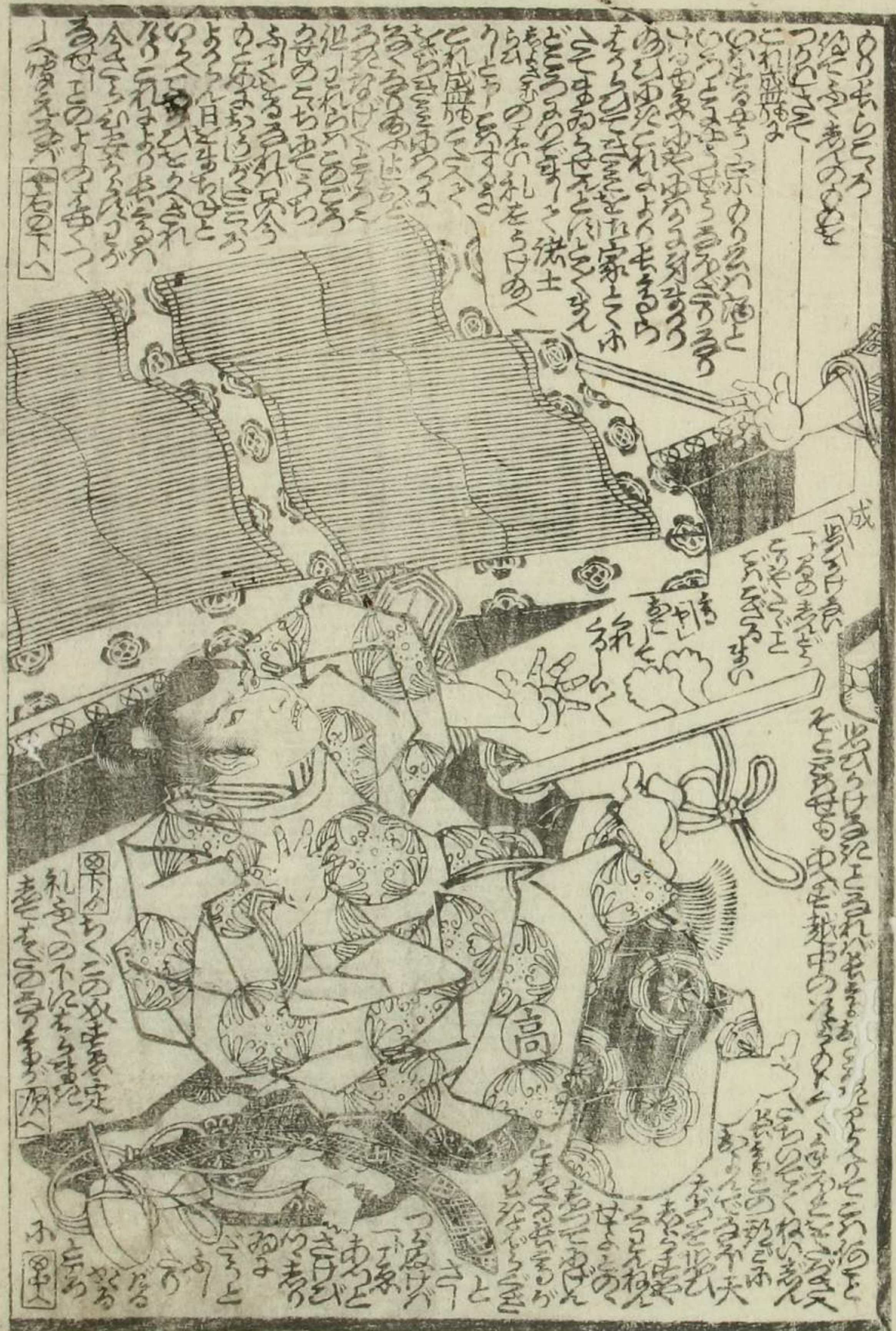


下の
 軍
 大い
 信
 行
 軍
 大い
 信
 行
 軍
 大い
 信
 行





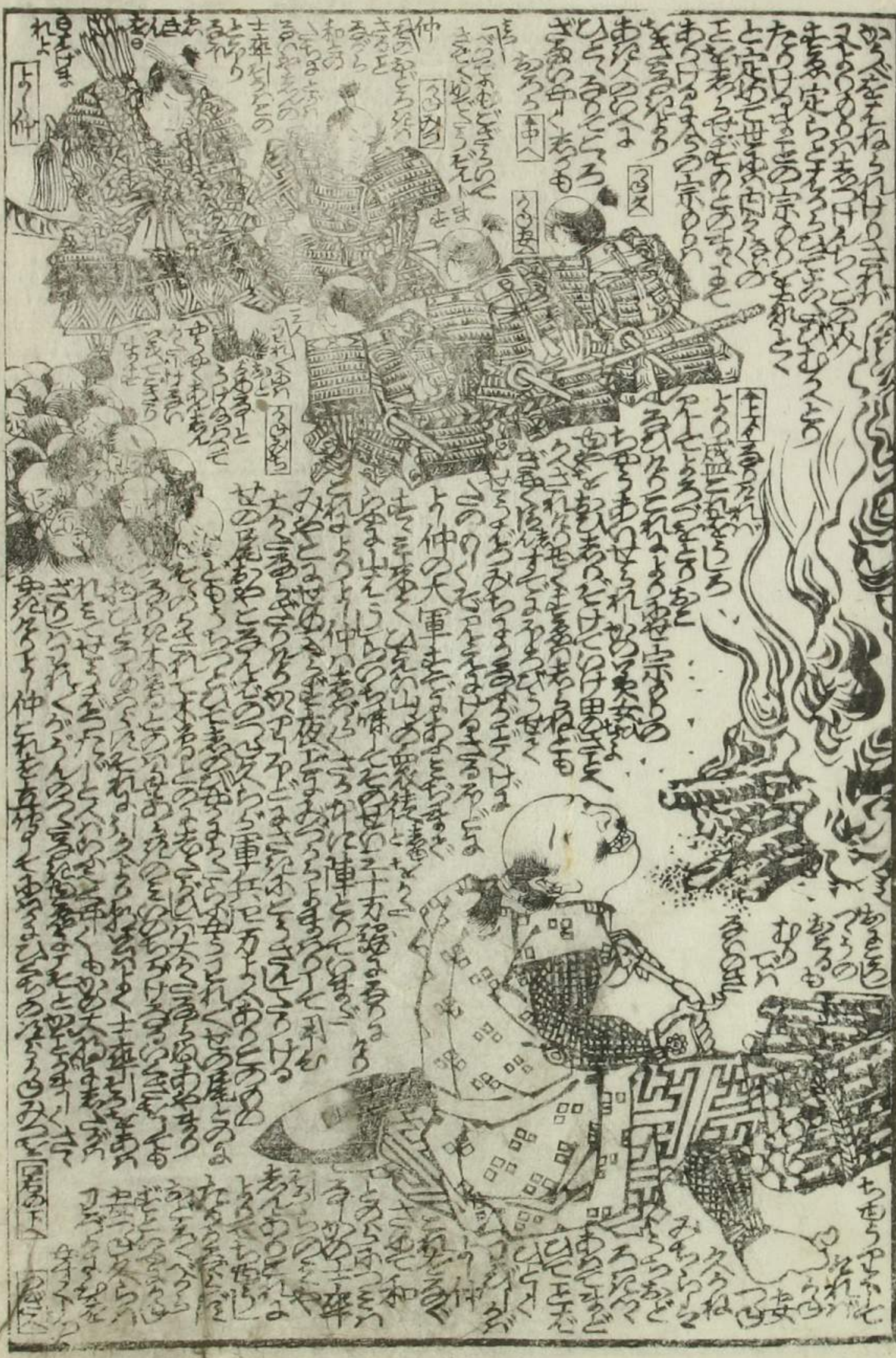








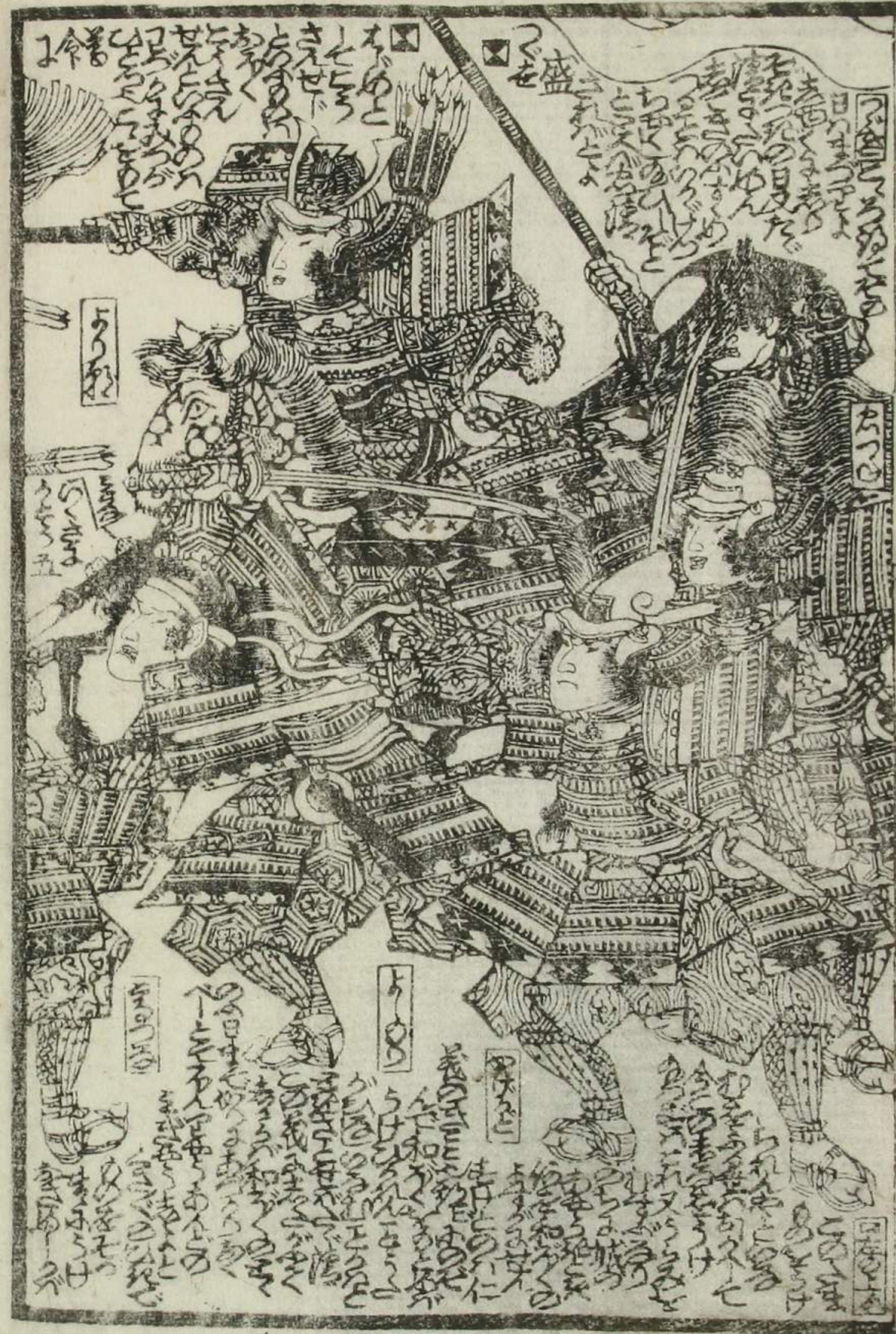
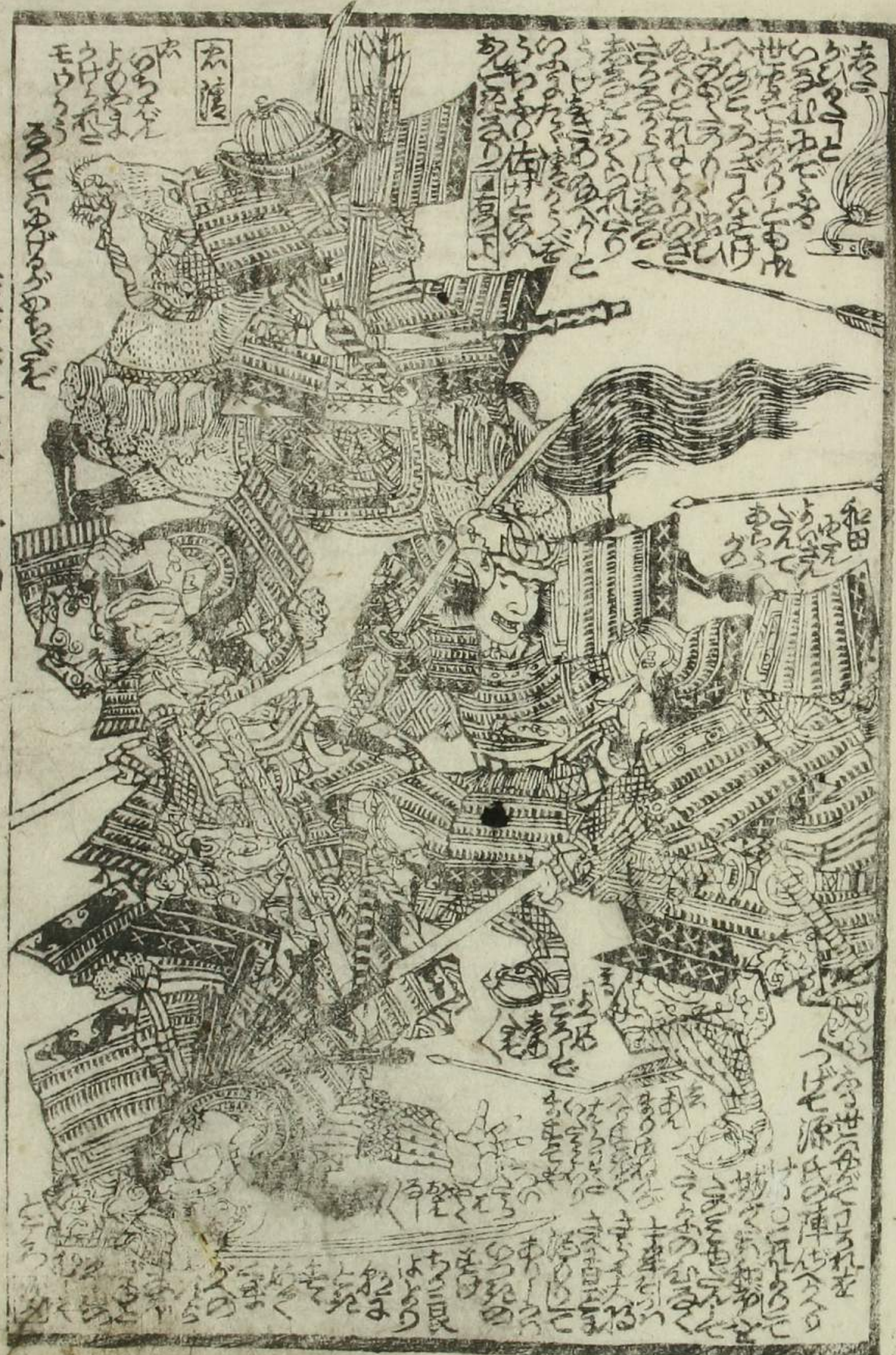
ろちあじこてちんりふまこしちの母ひる
 万葉集にもとまきりけ
 ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの



ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの

ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの
 ちのちちの







土居本尺一冊



土居本尺一冊



漢書卷二

九

山繭養法秘傳抄 北澤始芳大人著 全一冊
此書ハ山繭の製法秘傳のこゝろに詳しき初
 稿を以てし其後其の細なるを補ふるものあり

画本百千鳥 彩色摺 狂歌入 全三冊
此書ハ時の流りに依りて種々な鳥の姿を
 採集し又因に其の形を改めし物二百有餘

新形染彩目 前北齋 為一老人画 全一冊
此書ハ前北齋の流りに依りて種々な鳥の姿を
 採集し又因に其の形を改めし物二百有餘

活金剛傳 立川馬撰 初編 角力の秘傳 二編 文政の秘傳
此書ハ角力の秘傳を以てし其の秘傳の
 妙法を以てし其の秘傳の妙法を以てし

せんさの妙系 御免せんさの妙系
此書ハせんさの妙系を以てし其の妙系
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

蘭玉屑 陽明書院
此書ハ蘭玉屑を以てし其の蘭玉屑
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

四十八手関取鏡 立川馬撰 角力
此書ハ角力の秘傳を以てし其の秘傳の
 妙法を以てし其の妙法を以てし

漢楚賽擬選軍談 曲馬撰 琴作 袋入
此書ハ漢楚賽擬選軍談を以てし其の漢楚賽擬選軍談
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

代夜待白女辻出 曲馬撰 琴作 全六冊
此書ハ代夜待白女辻出を以てし其の代夜待白女辻出
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

神史水滸傳 山東京山編譯 袋入
此書ハ神史水滸傳を以てし其の神史水滸傳
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

歌川國芳画圖 歌川國芳画 袋入
此書ハ歌川國芳画圖を以てし其の歌川國芳画圖
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

正本製十二編 柳亭種彦作 袋入
此書ハ正本製十二編を以てし其の正本製十二編
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

家内安全集 春川英笑画 袋入
此書ハ家内安全集を以てし其の家内安全集
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

七勇婦傳 漢齋英泉画 袋入
此書ハ七勇婦傳を以てし其の七勇婦傳
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

泰平錦繪 英得画 全五冊
此書ハ泰平錦繪を以てし其の泰平錦繪
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

鴉權兵衛 柳亭種彦校合 全六冊
此書ハ鴉權兵衛を以てし其の鴉權兵衛
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

文政士巳丑
 新雕繪草紙

家内安全集 春川英笑画 袋入
此書ハ家内安全集を以てし其の家内安全集
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

七勇婦傳 漢齋英泉画 袋入
此書ハ七勇婦傳を以てし其の七勇婦傳
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

泰平錦繪 英得画 全五冊
此書ハ泰平錦繪を以てし其の泰平錦繪
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

鴉權兵衛 柳亭種彦校合 全六冊
此書ハ鴉權兵衛を以てし其の鴉權兵衛
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

美艶仙女香 柳亭種彦校合
此書ハ美艶仙女香を以てし其の美艶仙女香
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

正本問屋 永壽堂西村屋與八
此書ハ正本問屋を以てし其の正本問屋
 の妙法を以てし其の妙法を以てし

